



学校だより 11月号

横浜市立菊名小学校

令和4年10月31日

エールをつなぐ運動会 心をひとつにさあやろう

校長 野間 義晴

今年の運動会も、新型コロナウイルス対策として、密にならないように2学年ずつ、時間を短縮しての開催となりました。保護者の参観も制限しての開催、地域の方々をはじめ多くの方々にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

児童代表委員会では、「エールをつなぐ運動会 心をひとつにさあやろう」というすてきな運動会スローガンを決めました。分散開催だからこそ「エールをつなぐ」ことが全校の心をひとつにすると考え、「さあやろう」と、今年また新しい運動会という思いが込められていました。2学年ずつではありますが、3・4年生や1・2年生の開会宣言に始まり、5・6年生の閉会の言葉までエールをつないでいき、菊名小全体として「心をひとつ」にしていけることができました。

当日グラウンドでは、それぞれの学年がまとまった演技と力いっぱい徒競走が展開されました。

6年生にとっては、小学校最後の運動会。それぞれの胸の内に秘めた思いがあったことでしょうか。学年全体での「百花繚乱 心を燃やせ菊名ソーラン」では、一人一人の集中力、そして最高学年としての団結力を見せてくれました。5年生の「Kick & Heart」の演技では、空手の型をもとに力のこもった動きを大切にしていました。4年生「祭〜和(わ)になって踊ろう〜」では、炭坑節のリズムに始まり、はりこのお面を巧みに使って息の合った演技を披露しました。3年生「はじまるよ！3年生ステージ！チャンネルはそのまま！」では、強弱のリズムにのったなわとび演技が印象的でした。2年生の4色の帽子を使った「Welcome 2 ダンスホール♪」では、リズムにのって笑顔あふれる演技でした。1年生にとっては、初めての運動会。「みてみて！わくわくスマイル」の旗を使った演技に全力で取り組む姿が印象的でした。開会宣言でしっかりと並んでいる姿にも、たくましい育ちを感じました。

それぞれの学年やクラスで運動会に向けた学習を進めていくなかで、一人一人が全力で、心で団結して盛り上がりとうるからこそ、昨日を超える自分があるはず。昨日を超える瞬間がありました。この成長がやはり学校をつくっているのだと思います。

子どもたちが今回の運動会を通して学んだことをクラスや学年の力として、今後の学校生活や日々の出来事や生活につなげ、生かしていけるよう、今後とも子どもと心をひとつにしながら指導してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



☆マーチングバンドクラブ☆

9月16日に、マーチングバンドクラブが秋葉台文化体育館において「神奈川県マーチングバンドフェスティバル」に参加しました。練習の成果をいかに発揮して、すばらしいパフォーマンスを披露しました。